

家をつくることが ゴールではない

010

最後のテーマは

「家をつくることはゴールではない」です。

多くの方にとって、住まいづくりは一生に一度の大きな出来事です。

最長で50年もの住宅ローンを背負って行うわけですから、たくさん悩み、真剣に考え、頑張っ

て家づくりに向き合う方がほとんどだと思います。

ですが、家づくりにかける時間は数年。

その後の暮らしは、何十年と続いていきます。

「家をつくることがゴールではない」という言葉は、弊社のコンセプトでもある

「作りたいものは家ではなく、『あなたの暮らし』です」という考え方にもつながっています。

住まいとは、

自分の暮らしをつくる“器”です。

新しい住まいで

「こんな暮らしがしたい」

「これをやってみたい」

そうした願いを実現するために家を建てるのであって、家を建てること自体が目的ではないのです。

例えば、旅行が大好きな方がいるとします。

旅先で買った器や土産物を飾って楽しみたい。

そのために素敵な飾り棚を作るのはとても素敵なことです。

しかし、家づくりにお金をかけすぎてしまい、旅行にも行けず、ストレスばかり溜まってしまっ

ては本末転倒です。



住宅ローンは、
借りられる額ではなく、返せる額で考えること。

これはとても大切な考え方です。

そして、家を建てたあとも、
お金が一切かからなくなるわけではありません。

税金はもちろん、
メンテナンスや設備の修理など、
住まいには必ず維持費がかかります。

私たち工務店としても、
できるだけメンテナンス費用がかからない家づくりを
心がけていますが、
残念ながらそれをゼロにすることはできません。

だからこそ私たちにとっても、
お引き渡しはゴールではなく、
住まいの守り手としてのお付き合いのスタートなのです。

もちろん、理想の住まいを実現するために、
もう少しだけ借入を増やすことが必要な場合もあります。
例えば、月々の返済が1万円増えると、
借りられる金額は金利にもよりますが、かなり変わってきます。

それを理想の暮らしのために使うのであれば、
それは決して無駄なお金ではなく、
暮らしへの大切な投資になることもあります。

大切なのは、
何を優先するのかをしっかりと考えること。

そして、その1万円が
これからの生活にどんな影響を与えるのかを
きちんと理解しておくことです。

私にとって一番つらいのは、
お引き渡しのあとに
「やっぱり、あれをやっておけば良かった...」
と言われることです。

住まいづくりに、
たった一つの正解はありません。



SNSにはさまざまな情報や意見があふれています。

ですが、そこでの暮らしに満足できているのなら、それがあなたにとっての正解です。

私たち工務店にできることは、その正解を見つけるためのお手伝いをすること。

あなたの良き相談相手になれるよう、これからも学び続け、真摯に住まいづくりと向き合っていきたいと思います。

そして、住まいづくりはお引き渡しでゴールではありません。

そこから始まる暮らしを、ずっと支え続けていくこと。

それが、私たち矢川原の仕事だと考えています。

「矢川原の家づくりで本当に大切な10のこと」最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

